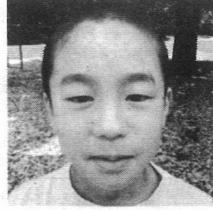


「フロストバレーのなぞ？」

ニュージャーシー日本人学校小4

小西 天満



た。だから「チームワークが大切ということに気づきました。いろいろなアクティビティーがあった中でほぼ五年生が先にやらしてくれました。だから次はぼくがゆずりたいです。食事の時に両手がふさがってドアがあげられない時にアメリカ人があけてくれたので、ぼくもしてあげたいです。」

ぼくはフロストバレーで朝早く起きてみんなねているのにうるさくしておこられました。だから「思いやり」が大切なんだと思いましたが、あとぼくはならんで行動している時にすぐ列がぐちゃぐちゃになったので、ぐちゃぐちゃにならなようにしたいです。

ウオーターエコロジーではさわつちやいけいな虫がいるということが分かりました。ハイキングの時にインストラクターのルカさんが四つ葉のクローバーみたいな葉っぱをくれて、この葉っぱは食べれると教えてくれました。食べたらちよつとすっぱかったです。

キャンプファイアーのげきでルカさんは自分のやくになりきってしていたので、ぼくも次はやくになりきってみたいです。

は、みんなで息をあわせないともち上がらないので、協力をすることが大切ということが分かりました。プロジェクトアドベンチャーでは、ゴルフボールを台にのせて決まったところにおとすゲームをしました。さいしょの人がうしろに行つてをくりかえしてやりました。これも一人ではできないので協力が大切ということです。

とが分かりました。カヌーをした湖にビーバーがいました。ビーバーはりくにあがつて草を食べていました。ぼくはビーバーが草を食べるとは知りませんでした。だからびっくりしました。

来年は思いやりやチームワークや協力することをできるようにして、つぎの四年生のおてほんになりたいです。

フロストバレーのアクティビティーでウオーターエコロジーでカエルやとけげをつかまえて楽しかったです。

(滞米4か月)